ふれあい 支えあう すごやかなまち 住みよい高須

たかす社協だより

第 14 号(春·夏編) 令和 3 年 6月 15 日発行 高須地区社会福祉協議会 発行責任者 香月 英彦

〈令和3年度 活動目標〉

人にやさしく、つながりのある 高須地域づくり

コロナ禍にあっても、住み続けたい「たかすのまちづくり」の継続・進展を! ~令和3年総会報告~ 高須地区社会福祉協議会 会長 香月英彦

5月11日、予定通り小人数(30名)の参加者に絞り、25分の短時間で総会を開催しました。

1, 令和2年度高須地区社協事業の報告

昨年度は新型コロナウイルス禍にありながらも 高須地区社協の活動にご理解ご協力ご支援いただ き、心より感謝申し上げます。

コロナ禍で諸活動を中止せざるを得ませんでしたが、見守り活動では<u>「電話で健康伺い」</u>をアンケートにまとめ、自粛生活の指針をつくりました。



屋外でのラジオ体操(夏休みには子どもたちも参加)、サロン活動もできるだけ実施し、「マスクづくり」など**コロナ対策を念頭に高齢者の孤立化を警戒しました。**

★市社協のボランティアフォーラムで、このような「with コロナ対応」を発表しました。

また、高須地域生活支援相談員の配置により、空き家対策や「たかすちょこっと応援タイ」活動でのお困りの家庭の生活支援、高須小、公園など公共施設等の清掃整備など多岐にわたり2年目の活動を持続できています。更に、コロナに対する学習会や第5回たかす認知症行方不明者捜索模擬訓練を、時節柄 図上で行いました。

2, 令和3年度事業計画 概要

高須社協は**設立から35周年**を迎えます。活動の理念として、「ふれあい 支えあう すこやかなまち住みよい高須」を目指しています。

本年は、「高須のまちは、ひとにやさしく つながりのあるまち」をテーマに北九州市、 若松区、そして高須地域の諸団体との連携を軸に、「少子高齢社会」の課題をコロナ禍にあってもチャレンジします。そのための具体策として

- ① たかす元気プラン8期目 4 グループの推進
- ② **きめ細かな住民サポート** 見守り・話し合い・助け合い相談活動
- ③ 住みよい高須づくり・きずなづくり SOS ネットワーク・地域包括ケアシステムの構築 SDGs の推進、35 周年事業の企画・実行、たかすリビングラボの推進
- ○会計決算・予算も含め、総会議事内容は、全員賛成で可決・成立しました。

〈令和3年度上半期の主なスケジュール〉

- 7月 13 日 (火): いつまでも盛旬! 講座~ 「SDGsって何?私たちの暮らしと SDGs」
- 7月21日~8月10日 元気っ子ラジオ体操会 ・8月24日(火):連絡調整会議
- 8月28日(土):セミナー開催~「だれひとり取り残さない地域のつながり」

(男女共同参画地域推進員の会 共催セミナー)

- 9月25日(土): 第20回年長者のおまつり
- 9月28日(火): 元気プラン全体会議

エンジョイ!自粛生活

~高須地域各サロンの情報から~

3回目の緊急事態宣言のなか、ワクチン接種が75歳以上の高齢者から開始。電話での**予約**は苦戦。 民生委員や周囲の人の協力も得て、オンラインでなんとか予約できる状況でした。

さて、各サロンでは、「自粛生活」の中にも元気で楽しい過ごし方が話題になりました。

(南1,2,5笑顔いきいき夢サロン)

おしゃれな布地のマスクを手作り

不織布マスクと二重使用で感染防







西の

(南3,4:日曜ひろば)

腹式呼吸で、血流を高め免疫力をつけよう!

・吐く息を吸う息の2倍のタイムで吐く。



(東:お話サロン)

家の中で、無理せずにできる体操の実践



- ・散歩やウオーキング・ラジオ体操、ロコモ体操・グランドゴルフで体力維持! 日常生活計画化、毎日歩く歩数を決めチャレンジ「自然の移ろい」を感じます。
- ・路上の花の名前をスマホ情報でキャッチ・・「脳トレーにもよいですよ。
- ・**家族の仲間意識が芽生えた** 自粛生活で、無関心だった家族の会話が復活。
- ・「**この先、どうしたいの・・?**」子どもたちが「親の老後」に関心をもち会話が増えた。
- ・2000年ごろ、私は何を考えていたの・・回答は過去の「日記」にあり。
- ・スイミング教室でバタフライ 肥満対策に最適!
- 毎朝のこどもたちの登校交通指導で元気をもらう! などなど・・話は、「人生論」にまで及ぶことに! (報告 香月)



「SDG s って何?」-私たちの暮らしとSDG s - 高崎 弘子

SDGsとは「持続可能な開発目標」という意味。国連加盟の 193 カ国によって、2015 年に採択され、2030年までの達成をめざして、17の目標が掲げられています。

環境・経済・福祉・教育・人権・まちづくり等々、「誰一人取り残さない」のスローガンのもと、世界中で様々な取り組みが進められています。

持続可能な社会を未来につなげていくことは、現代を生きる私たち全員で取り組むことが大切だと思います。例えば、市民センターの部屋を借りた時には、借りた時よりもきれいにして返すように、私たちは、未来の人に今よりもより良い社会にして、継承するという使命があると思います。身近で出来ることがたくさんあります。買い物にはマイバッグ、出かける時にはマイボトルを持って!ゴミは分別しリサイクル・リユースで活用する。男女・年齢・人種を問わず、思いやりの心で大切に

未来に生きる子・孫たちの時代のためにも、今を生きる私たちは、日々の 生活の中で具体的にできることを、もっと考えてみましょう。

接していく等々、ちょっとしたことが SDGs につながっています。

サロンとメンズサロンも元気に顔合わせ・再開です!